

令和 7 年度  
寄居町中学生海外相互交流派遣事業

# 報 告 書



*Summer of Discovery*  
(発見の夏)

*A Sky Wider Than Dreams*  
(夢より広い空)



令和 7 年 8 月 23 日～30 日  
アメリカ合衆国 オハイオ州 メアリズビル市

# も く じ

|                                         |    |
|-----------------------------------------|----|
| ◆ 趣旨                                    | 1  |
| ◆ 交流経緯—寄居町とメアリスビル市との交流の経緯について—          | 2  |
| ◆ メアリスビル市の基本情報                          | 3  |
| ◆ 事業日程                                  | 4  |
| ◆ グループ報告                                |    |
| ①文化の違い探検隊—日米編—                          | 5  |
| ②What we learned from living in America | 7  |
| ③To A New Land ～アメリカへの旅～                | 9  |
| ◆ 派遣者個人報告                               |    |
| ①「Me in Amazing Marysville」             | 11 |
| ②「Amazing Marysville life!!」            | 12 |
| ③「My first time in America」             | 13 |
| ④「思い出の旅」                                | 14 |
| ⑤「My Precious Memory」                   | 15 |
| ⑥「驚きの連続だったメアリスビル」                       | 16 |
| ⑦「Very memorable week」                  | 17 |
| ⑧「8days of Encounters and Learning」     | 18 |
| ⑨「Under the Same Sky」                   | 19 |
| ⑩「Unforgettable Days in Marysville」     | 20 |
| ◆ 引率者報告                                 | 21 |

## ◆趣 旨

この事業は、米国オハイオ州メアリスビル市との交流事業の一環として、お互いの文化や教育に対する理解を深めるとともに、国際化社会に対応する人材を育成することを目的としています。

※この事業は、「次代を担う子どもたちが健やかに育ち、豊かな心を育む施策の推進に資すること」を目的として、町内に事業所を持つオリックス資源循環株式会社（三ヶ山区）の寄附金により創設された「オリックス資源循環子ども未来基金」を活用しています。



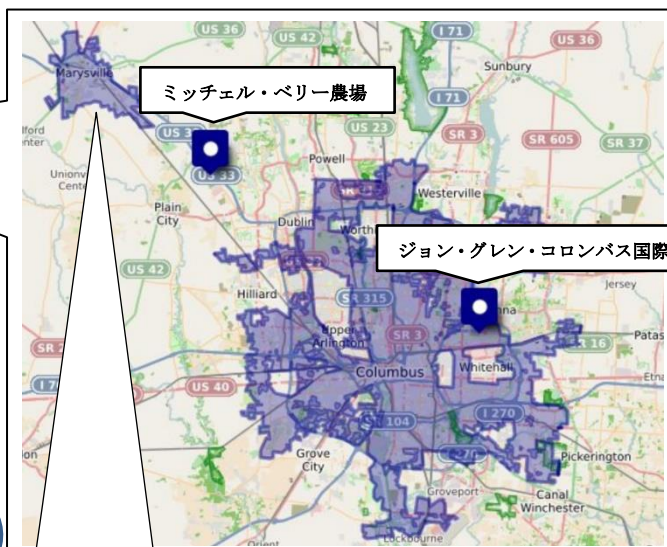
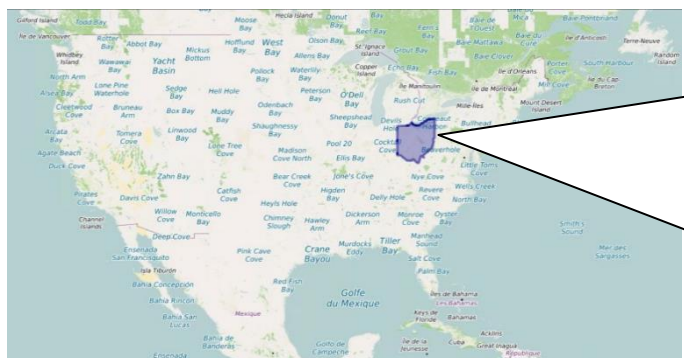


◆交流経緯―寄居町とメアリズビル市との交流の経緯について―

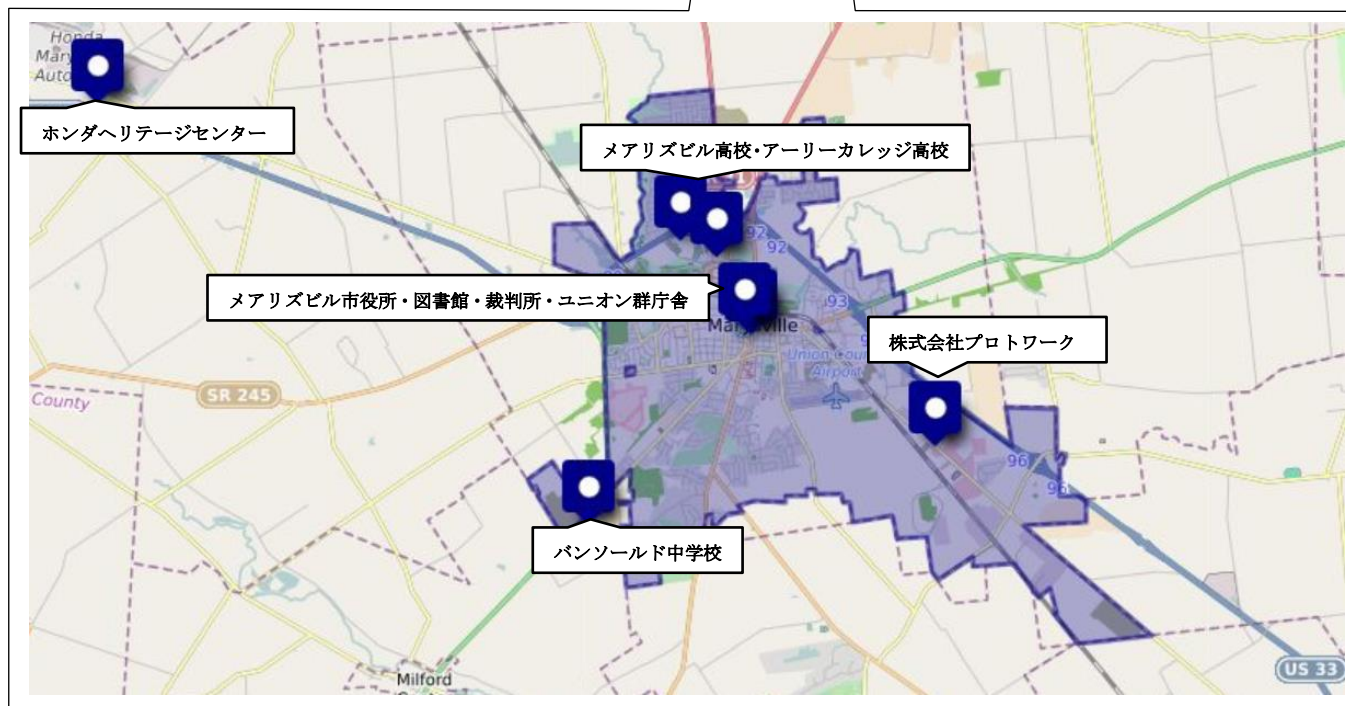
|       |                           |                                                                                                                        |
|-------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成25年 | 2月20日                     | 寄居町長からメアリズビル市長へ交流を希望する親書を送付                                                                                            |
|       | 4月8日                      | メアリズビル市長から寄居町へ交流に賛同する返書を受領                                                                                             |
|       | 9月11～12日<br>(2日間)         | メアリズビル市長を含む3名が来町<br>町内施設などの見学等を行い、具体的な交流を開始                                                                            |
|       | 12月1～6日<br>(6日間)          | 寄居町長を団長とする9名の視察団を派遣し、メアリズビル市を視察<br>友好都市提携に向けた交流活動を進めていくための友好宣言書に調印                                                     |
| 平成26年 | 6月29日                     | メアリズビル高校の校長が来町<br>中学校をはじめとする町内施設を視察                                                                                    |
| 平成27年 | 5月27～31日<br>(5日間)         | メアリズビル市に寄居町との交流を記念したパートナーズ公園が完成<br>落成式に副町長ら3名の視察団を派遣                                                                   |
|       | 7月4～13日<br>(10日間)         | メアリズビル市から生徒6名が寄居町でホームステイ滞在<br>学校体験や町内施設等を視察                                                                            |
| 平成28年 | 8月19～27日<br>(9日間)         | 寄居町から中学生18名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在<br>学校体験や市内施設等を視察                                                                      |
| 平成29年 | 7月7～16日<br>(10日間)         | メアリズビル市から生徒16名が寄居町でホームステイ滞在<br>学校体験や町内施設等を視察                                                                           |
| 平成30年 | 8月17～26日<br>(10日間)        | 寄居町から中学生10名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在<br>学校体験や市内施設等を視察                                                                      |
| 令和元年  | 7月6～15日<br>(10日間)         | メアリズビル市から生徒6名が寄居町でホームステイ滞在<br>学校体験や町内施設等を視察                                                                            |
| 令和2年  |                           | 新型コロナウイルス感染症の影響により寄居町からの派遣を中止                                                                                          |
| 令和3年  |                           | 新型コロナウイルス感染症の影響により寄居町からの派遣を中止                                                                                          |
| 令和4年  | 11月15日<br>11月18日<br>(2日間) | 新型コロナウイルス感染症の影響により寄居町からの派遣を中止<br>代替事業としてオンライン交流会を実施<br>オンライン交流会①【寄居町立城南中学校×メアリズビル市】<br>オンライン交流会②【寄居町立寄居・男衾中学校×メアリズビル市】 |
| 令和5年  | 8月18～27日<br>(10日間)        | 寄居町から中学生10名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在<br>学校体験や市内施設等を視察                                                                      |
| 令和6年  | 6月5～16日<br>(12日間)         | メアリズビル市から生徒5名が寄居町でホームステイ滞在<br>学校体験や町内施設等を視察                                                                            |
| 令和7年  | 8月23～30日<br>(8日間)         | 寄居町から中学生10名をメアリズビル市へ派遣し、ホームステイ滞在<br>学校体験や市内施設等を視察                                                                      |

## ◆メアリズビル市の基本情報

メアリズビル市は、オハイオ州の州都コロンバスの北西約 40 kmに位置する、人口約 2 万 9000 人（2025 年現在）、面積 40.84 平方kmの市です。産業について製造業、特に自動車産業が強く、日本企業を含む多数の国際企業が進出しています。中でも、本田技研工業株式会社（Honda）の北米初となる自動車工場が 1982 年に設立されて以来、関連部品メーカーや物流企業など多くの日系企業が地域経済を支えています。現在では、日本企業だけで 20 社以上が所在しています。



令和 7 年度  
中学生海外相互交流派遣事業  
訪問先



◆事業日程

| 日 時 |        | 内 容       |                                                               |
|-----|--------|-----------|---------------------------------------------------------------|
| 7月  | 9日(水)  | 【説 明 会】   | 参加者自己紹介、日程説明、渡航手続き案内 ほか                                       |
|     | 23日(水) | 【事前研修①】   | 語学研修<br>「あいさつ、自己紹介、機内会話、入国審査、ホームステイ会話、<br>ショッピング会話、プレゼンテーション」 |
|     | 31日(木) | 【事前研修②】   |                                                               |
| 8月  | 1日(金)  | 【事前研修③】   |                                                               |
|     | 13日(水) | 【事前研修④】   |                                                               |
|     | 23日(土) | 【結 団 式】   | 激励のことば、派遣団員決意表明 ほか                                            |
|     | 23日(土) | 【出 発】     | 12:00 寄居町役場発<br>18:10 羽田空港発 ⇒ トロント・ピアソン国際空港経由                 |
|     |        | 【到 着】     | 20:40 ジョン・グレン・コロンバス国際空港着 ホームステイ開始                             |
|     | 24日(日) | 【歓 迎 行 事】 | ホンダヘリテージセンターで歓迎行事<br>[市長挨拶、ホストファミリー挨拶 等]<br>ホンダヘリテージセンター見学    |
|     | 25日(月) | 【見 学】     | ミッチェル・ベリー農場、株式会社プロトワーク、市役所、消防署<br>図書館、裁判所の見学<br>市議会にて歓迎会      |
|     | 26日(火) | 【学 校】     | アーリーカレッジハイスクール見学・授業参加                                         |
|     | 27日(水) | 【学 校】     | バンソールドミドルスクール見学、授業参加                                          |
|     | 28日(木) | 【学 校】     | メアリズビルハイスクール見学、授業参加<br>送別式                                    |
|     | 29日(金) | 【出 発】     | 9:20 ジョン・グレン・コロンバス国際空港発<br>⇒ トロント・ピアソン国際空港経由                  |
|     | 30日(土) | 【帰 国】     | 15:25 羽田空港着<br>19:20 寄居町役場着                                   |
| 9月  | 8日(月)  | 【事後研修①】   | 報告書作成                                                         |
|     | 12日(金) | 【事後研修②】   |                                                               |
|     | 16日(火) | 【事後研修③】   |                                                               |
|     | 29日(月) | 【事後研修④】   |                                                               |
| 10月 | 27日(月) | 【帰国報告会】   | 帰国報告会                                                         |

## 文化の違い探検隊—日米編—

参加生徒によるグループ報告

### 【アメリカの生活習慣について】

私達のグループは、アメリカで実際に生活をしてみて、日本との生活習慣の違いをいくつか体験しました。

滞在した家庭の中には、夜寝る前に家族そろってボードゲームをするところがありました。ゲームを通して会話が広がり、笑い合う様子はとても印象的でした。日本では家族全員で遊ぶ機会が少ないので、家族の絆を大切にする文化を感じました。また、ある家庭では家の中で靴を脱がずに生活していました。最初は驚きましたが、アメリカではそれが普通であることを知りました。

自分達が当たり前だと思っていたことも、国が変われば異なるのだと実感しました。一方で、日本と同じだと感じたところもあり、車の中で音楽を流して、みんなで歌っているのは、共通だなと思いました。アメリカで実際に生活をしてみて、日本との生活習慣の違いをまとめてみました。

国歌斉唱(The Star-Spangled Banner)のときに胸に手を当てる習慣です。右手を心臓の位置に置き、それが国への敬意や誇りを表す姿であり、とても印象的でした。日本では、直立不動が礼儀なので、文化の違いを感じました。

もう一つ驚いたのは、多くの高校生が自家用車で登校していたことです。アメリカでは16歳で運転免許証が取得できるため、日本では考えられない光景でした。

また、アメリカの方々は、朝にシャワーを浴びることです。日本では夜にお風呂に入ることが多いと思います。最初は慣れませんでした。スッカリ目が覚める感じが。私達にはこちらのスタイルのほうが合っている気がしました。

こうした習慣の違いに触れ、新しい価値観を学

ぶことができました。

### 【アメリカの食文化について】

アメリカでの食事。日本との違いに驚いたのは、お菓子がとても甘いこと、飲食店は頼んだ食べ物が来る前にサービスで無料のロールパンやフライドオニオン、プレッツェルなどを提供してくれることです。

学校の給食も自分でピザやハンバーガーなど好きな物を選んで食べることができました。ニンジンなどの野菜を生で食べるのは7日間を通して慣れませんでした。朝食は、シリアルやドーナツで少し足りないぐらいでした。それに反して、夕食はとにかく量が多い店ばかりでした。あえて多過ぎる食べ物を提供して、余った食べ物を持ち帰ってもらうのも店側の文化の1つだと、ホストファミリーが教えてくれました。また、日本に比べて野菜が少なかったのも印象的でした。メアリズビル市には、メキシコ料理やスペイン料理、日本料理など様々な国のお店がありました。

アメリカの食事はとにかく量が多くて、味が濃いものばかりでした。日本とアメリカの食生活は全然違って。その国ごとに合っている食文化があることがわかりました。





## 【日本 VS アメリカの常識バトル】

今回のホームステイで気付いたアメリカの常識について、日本の常識と比較（バトル）してみました。

まずは、学校生活についてです。1つ目は制服の有無です。日本では、中学生から学校へ制服を着ていくのが基本です。しかし、アメリカでは私服がほとんどでした。この勝負はアメリカの勝利です。2つ目は掃除についてです。日本では、生徒たちが掃除をすることが基本です。しかし、アメリカでは、掃除は清掃員が行います。私達は、掃除は将来の役に立つと思うので、これはドローとします。

次にホストファミリーとの日常生活で知り得たことについてです。1つ目は、ホストファミリーと一緒にスーパーに行ったとき、お菓子などをお土産に購入しようと思って、スナックコーナーへ行きました。驚いたのが、お菓子の量が日本の2倍位あるのに、チャックが付いていないので密閉できない＝再密閉できないのです。この出来事が



一番の驚きでした。あんなに大きなサイズでも、アメリカ人からしたら、食べきりサイズなのかもしれません。私達は、こんなにお菓子を大量に食べないので、ここは日本の勝利にしたいと思います。2つ目は、野菜が生だったことです。日本では茹でたり炒めたりする野菜が多いですが、アメリカでは洗ってあるだけの生にんじんや生ブロッコリーを食べました。生のにんじんをチャレンジしてみました。すると、野菜からは聞いたことが

ない“コリッ”といういい音が鳴るほど固くて驚きました。ここは日本の勝利です。3つ目は、メアリズビルの気候です。日本は今、35℃を超える日が増えているのに、メアリズビルでは平均20℃程度でした。メアリズビルはとても住みやすい気候だと思うので、ここはアメリカの勝利です。他にもアメリカには食事中に限らず、人前では鼻をかんではいけないというルールがあり、アメリカの方が食事中のマナーが多いと感じました。

最後にメアリズビルの常識についてまとめました。

- ハンコではなく、サインが主流。
- ピザは四角形に切る。
- とうもろこし畑がとても多い。
- 授業中などに「質問ある人いますか？」と聞かれたときに、何も質問がないと失礼。
- 信号機が縦型（日本でも豪雪地帯に見られる）。
- 学校での落とし物が多い。
- 学校にアメフトのスタジアムがある！

## 【まとめ】

日本とアメリカの文化の違いを肌で感じて、改めて寄居とメアリズビルの良さを実感することができました。この良さを、世界に向けて発信していきたいです。アメリカで得た経験により、英語力・コミュニケーション能力のほか、膨大な胃袋やフレンドリーな心、お互いの文化を尊重する大切さなどを学ぶことができました。この経験をたくさんの人に広めて、活かしていきたいです。





# What we learned from living in America

参加生徒によるグループ報告

私達は、アメリカでたくさんの貴重な経験をすることができました。その中でも、日常生活や学校生活、英語を主とした毎日を通して気づいたことをまとめました。

## 【日常生活での気づき】

- ・16歳以上で免許が取れば運転することができるそうです。
- ・家が大きくて、ほとんどの家に地下室があり、裏庭も広がったです。そしてほとんどの家にバスケットゴールがあることに気づきました。
- ・国土が広いので、街と街をつなぐハイウェイがたくさんありました。日本でいうと、バイパスみたいなもので、もちろん料金もかかりませんでした。
- ・アメリカ人はちょっとしたミスでも、Don't worry!と笑い飛ばしてくれるので、いつも前向きにチャレンジすることができました。
- ・ゴミ捨ての様式が日本と違いました。日本は人がゴミ収集車にゴミを入れるのに対して、アメリカはゴミ収集車にゴミを自動で回収してくれるアームが付いていて、それを使い、回収していて、面白いな～と思いました。



- ・日の出と日の入りが遅く、生活リズムを合わせるのが大変でした。

## 【学校生活での気づき】

私達は、ECHS(アーリーカレッジハイスクール)、BMS(バンソールドミドルスクール)、MHS(メアリズビルハイスクール)に行きました。これらの学校で



気づいたことは沢山ありますが、特に感じたことを紹介します。

- ・身なりが自由  
→日本では体育着や制服で過ごしますが、アメリカは全員が私服で過ごしていました。
- ・時間の感覚が曖昧  
→遅れて学校に来る人が何人かいました。
- ・チャレンジ精神がある  
→あれやりたい！と積極的に言い、行動にすぐ移っていました。
- ・自分のクラスが無い  
→日本の大学のように〇年〇組というのが無く、自分で教科を選んで学習していました。
- ・カフェテリアで昼食  
→自分のクラスが無いので、カフェテリアで友達と話しながらご飯を食べていました。
- ・日本と学ぶことは同じだが、学ぶ年齢が違う  
→授業に参加したとき、日本では中学一年生で学ぶ花のつくりを高校で学んでいました。
- ・どの学校にも無料の給水器がある

→アメリカは日本のように水道水が飲めないので、すぐに水が飲める給水器がありました。

- ・自信にあふれている生徒が多い

→自分達のクラブ活動などに誇りを持っていました。

全体を通して、全ての学校生活が日本より自由だと思いました。

### 【英語に触れての気づき】

一週間、ホストファミリーや学校の先生、飛行機のスタッフさんなど、たくさんの人と英語で会話しました。その中でも、アメリカの特徴が出ていたように感じました。

私達日本人は主語がない文をよく使いますが、英語はほとんどの文が主語から始まるので、同じ意味でも強い主張を表しているように聞こえました。また、友達と話しているときに、楽しいことがあると思いきり笑うところや、授業の中で自分の意見を自分の言葉でしっかりと発しているところを見て、中学生でも気持ちがはっきりしていると感じました。



そして、話す中で驚いたのは、完璧な文法で話せなくても気持ちが伝わることです。途切れ途切れの単語でも、身振り手振りや表情とともに、伝えたいという思いがあれば、相手は言いたいことを理解してくれることがわかりました。さらに、メアリズビルの学生が話す日本語を理解できたときにとっても嬉しいと感じました。

英語を通して、理解し合う喜びや自分の意見を主張する方法・大切さを知ることができました。多くの人とコミュニケーションを取り、学びを得ることができてよかったです。



### 【まとめ】

今回の事業を通して、私達はたくさんの学びを得て、日本ではできない体験をすることができました。また、様々な違いを肌で感じて、世界の広さを知ることができました。

日本で考えていたアメリカのイメージとは少し違く、現地に行かないと分からないことが沢山ありました。アメリカの良さを知るとともに、日本の良さも改めて感じたので、これからはどちらの文化も大切にしていきたいと思いました。

気づいたことや感じたことを一生の宝にして、今後の生活に私達の行動として示していきたいです。また、これらの気づいたことをもっとたくさんの人たちに伝えていければと思います。





## To A New Land ～アメリカへの旅～

参加生徒によるグループ報告

《日本とアメリカの違い》

「車に関する違い」

アメリカでは車について2つの違いに気付きました。

1つ目は、左ハンドルだったことです。日本は右ハンドルなのでとても違和感がありました。

2つ目は、ハンドルと同じく、車道も反対なことです。日本に住んでいる私達からしたら、逆走している気分でした。車はピックアップトラックが多く、Honda の車もたくさん見ました。

道路についても違いがあります。アメリカの道路は日本と比べ凸凹していて、下るときはたまにジェットコースターみたいな感覚になりました。日本は2～4車線ですが、アメリカは8車線あることが多く、道路がとても広く感じました。

「メアリズビルの天候」

メアリズビルで過ごした1週間は8月でもとても寒く、朝の気温は4℃まで下がりました。朝、学校に行くときは外に出た瞬間、寒過ぎて声が出

るほどでした。日本の夏に比べてメアリズビルの夏は涼しく、同じ地球でも場所が変わるとこんなに違うのだと身に染みました。夜になり日が沈む時間もととても遅く、21時頃まで明るい空を見ることができました。

「サイズ感」

日本に比べてアメリカは全てが大きいです。ハンバーガーが日本の2倍くらいの大きさで、ポテトも多いです。パティも分厚く、全体が大きいです。焼きそばを頼んだときは、山盛りのファミリーサイズがドンッと運ばれてきました。



建物も大きく、特にスーパーマーケットはとても広いです。食品だけでなく、家電やおもちゃ、ゲーム機まで売っていて、一つ一つの商品数の多さに圧倒されました。

アメリカはどの家のサイズも大きくて、庭がとにかく広いです。1つの公園くらいの広さがありました。

ガレージがある家も多いです。車が濡れたりしなくていいので、日本の家もこの形にすれば良いと思いました。地下のある家も多いと感じました。地下があると秘密基地感があっていいと思ったの





で、私達の家にもほしいです。



#### 《メアリズビルの人達の距離感》

メアリズビルでは人と人の距離感がとても近く、賑やかでした。例えば、お店で買い物しているときに店員さんが「元気ですか？今日の天気はいいですね」など、親しく話しかけてくれました。外国人って本当に素敵だと思いました。

他にも学校の見学に行ったときに、「わからないことがあれば何でも聞いてね！」と声をかけてくれました。私達は緊張していたため、その言葉を聞いてとても安心しました。日本では、あまり必要なとき以外はコミュニケーションを取らないので、アメリカでの雑談はとても楽しく、アメリカ特有の文化なのだとも思いました。いつか日本もこのように距離感がもっと近づくといいなと思います。

#### 《SDGs》

私達がアメリカの街で歩いているときに思ったことは、自動販売機が圧倒的に日本よりも少なかったことです。

日本には、田舎でも歩いていたら絶対に目に入る程、自動販売機が色んな場所に置いてあります。ですが、アメリカには自動販売機があまり見付からなく、ほとんどの人がマイボトルを持ち歩いていました。それをみて SDGs に積極的に取り組んでいるんだなと知り、日本でもやってほしいと思いました。また、私達が行ったメアリズビルの学

校(BMS、MHS、ECHS)では給水器が設置してありました。日本でも水筒を持ち歩きますが、水筒の水が無くなってしまうと、水道の水を飲まなくてはなりません。水道の水はぬるいため、水筒の中に入っている氷は溶けてしまって、ぬるい水になり美味しく飲むことができません。ですが、アメリカの給水器の水は冷たいので、水筒に入れて冷たい水を飲むことが可能なのです。しかもセンサーで反応をしているため、水筒をセンサーが反応しているところに置くと、自動で水筒の中に水を入れてくれます。私達はアメリカに置いてある給水器を見て、すごく感激しました。とても冷たくて美味しいし、便利なので良ければ日本にもその機械を導入してほしいなと思いました。



#### 《まとめ》

今回、私達は日本とアメリカの違いについて調べました。アメリカと日本では、食文化や生活習慣、学校などのたくさんの違うところがありました。また、アメリカに実際行ってみて学べることもたくさんありました。海外についての関心を持てたからこそ、この事業は成功したのだと思います。たくさんの思い出もできました。今後、この経験を将来に生かしていきたいと思います。

私には夢があります。その夢は、寄居町に海外交流の場を作ることです。そのため、この広い世界を見て経験し、たくさんの人と交流し、自分の夢に役立たせようと思ったため、海外交流派遣事業に参加したいと思いました。

### ♡ My Days in Marysville ♡

13時間以上の長いフライト後の夜、ホストファミリーと初めて対面しました。今日から1週間ワクワク&ドキドキの生活が始まると私は思いました。Ferguson家は5人家族で、ホストをしてくれたHaliaはとても社交的で心が広く、優しく元気で、あっという間に仲良くなりました。犬のOtisもとてもかわいく、家族のみんなが温かく受け入れてくれたことに、今になってもとても感謝しています。

### ♡ My Lovely Week ♡

Ferguson家は、メアリズビルのいろいろな場所に連れて行ってくれました。例えば、日本にないPutt Puttや大きなモール、りんご狩りなどに行きました。Putt Puttでは、家族みんな揃ってとても楽しくミニゴルフをしました。ホールインワンが難しかったです。りんご狩りでは、Ferguson家が昔から訪れている、りんごの木が辺り一面広がった場所へ連れて行ってくれました。りんごが日本と比べてとても小さく、赤かったり、黄色かったりで、さまざまでした。モールは、日本と比べ物にならないくらい大きくて、迷子になりそうでした。私が行きたかったお店、Claire'sも行けてとても嬉しかったです。他にも、chicken filletをホストシスターのKeilanaと一緒に食べました。とても美味しかったです。その他、牛を見に行ったり、橋を歩いたり、とうもろこし畑、アイス屋さん、ハンバーガー店などに行き、本当に素晴らしく楽しい時間を過ごせました。

### ♡ The Scenery of Marysville ♡

とにかく緑が多く、とても落ち着いた町でした。徒歩で渡ったきれいな橋の景色がとても魅力的でした。学校では、個性豊かな生徒がたくさんいて、

賑やかでした。学校案内をしてくれた生徒達はとても優しく、一緒に話していて楽しかったです。

お店やレストランでは、客と店員との距離感がとても近く、天気や体調、食べ物などの話をされていて、聞いていて面白かったです。アメリカの食べ物は大きく、量も多く、私がコーヒを買った時は、アメリカのSサイズが日本のLサイズと同じくらいでびっくりしました。

### ♡ My Memories in Marysville ♡

メアリズビルは本当に魅力があり、1週間だけでは物足りない、たくさんの人と優しさがあふれる文化と歴史いっぱいの場所です。私はこの交流を通じて、英語力や海外経験だけではなく、行動力を身に付け成長できました。こうした力や経験を将来自分の人生に生かし、貴重な体験を無駄にせず、自分の夢に役立て、国籍や言葉に関わらず、多くの人とともに幸せに生きていくことができる世界になるように貢献したいと思います。

ハリアファミリーに出会えて良かったです。クリスマスにはホリデーカードを送る予定なので、これからも交流を続けていきたいです。

Thank you so much Yorii and Marysville!

I love you guys so much! I will never forget these amazing memories that I had this summer in 2025! ♡♡♡

Keep in touch~

Love,

### 【決意・目標】

この海外派遣事業に参加できることが決まった時、私は沢山英語でコミュニケーションを取るという目標を立てました。

### 【ホストファミリーと対面】

最初は、大きな期待とともに、英語が聞き取れるか、話せるかという不安もありました。メアリズビル市に到着し、ホストファミリーに会った時、周りから聞こえてくる言葉が英語で、アメリカに來たと感じました。お家に行くまでの車中では、自己紹介をして、好きなものなどについて話しました。ホストファミリーがたくさん質問してくれて、会話が弾みました。また、ゆっくり話してくれたこともあり、何を聞かれているか理解できました。慣れてからは答えるだけでなく、自分から質問することもできました。日本のお土産で、特にお菓子を喜んでくれました。

### 【メアリズビル警察署・消防署・図書館にて】

アメリカでは、警察・消防・救急がすべて同じ番号で、911だそうです。警察署では、セラピードッグと会いました。アメリカでセラピードッグが警察署にいるのは普通だそうです。もっとびっくりしたのは、学校がある時間は必ず警察官が学校にいます。安心だなと思いました。救急車も消防車も大きかったです。

### 【メアリズビルの学校】

ECHS や BMS、MHS に行き、学校の大きさにびっくりしました。入口がたくさんあり、迷子になりそうでした。現地の生徒たちは優しくて日本語が上手で、たくさん話しかけてくれました。学校紹介のツアーもゲームも協力して、英語をたくさん使い、とても楽しい時間を過ごしました。お友達もたくさんできました。お昼は日本のような給食ではなく、自分の食べたいものを食べられました。けれど、私のホストファミリーや現地でできた友達は、脂っこいからとお弁当を持ってきていました。学校にスマホを持っていてもいいけれど、ロッカーから出せなかったり、教室の前の箱に入

れていたりしていました。たくさん科目があって、やりたいことができそうでした。生徒全員が積極的に発言していて、自由に学び合いをしている様子が印象的でした。

### 【メアリズビルの街並み】

道端には鹿がいてお豆を食べており、寄居と同じく自然の豊かさを感じました。メアリズビルはとてもきれいな街で、まるで映画のようでした。また、一軒一軒が大きく、お庭も広がっています。ホストファミリーのお家は、コーン畑を持っていたり、牛を飼っていたりしました。家で育てた牛が食卓に出てきて、これは〇〇ちゃんだよと、お肉が牛だったころの名前を教えてくださいました。

### 【まとめ】

アメリカに行ったことで、フレンドリーな精神で、自分から話しかけることや、わからないことを恥ずかしがらず、わからないと言ったり、助けてほしい時に助けを求められるようになったりしました。目標も達成できました。家族同士の仲が良く、とても親切で優しく、私にも本当の家族のように接してくれました。日本の家族にも、あらためて感謝しました。今後も、現地の生徒達とやり取りを続け、日本の家族にアメリカの食べ物を作ってあげたいです。

今回の海外派遣事業でこんなにも楽しく充実し、たくさんの貴重な経験ができたのは、メアリズビルの方々、寄居町の方々、この経験を共にした仲間達、そして支えてくれたホストファミリーのおかげです。ありがとうございました。この体験を生かし、これからも英語に親しみ、チャレンジを続けていきたいです。



## My first time in America

My first time in America I learned a lot in Marysville during the week from August 23 to 30. I was in an environment where the language, scenery, people, and culture were all different, and every day was filled with new experiences.  
☆ホストファミリーと☆

私をホスティングしてくれたのは、バーローファミリーでした。アリソンは日本が大好きで、部屋にある日本アニメのポスターやフィギュア、自分で書いた習字の作品、漢字の宿題を見せてくれました。アメリカでも日本の人気を感じられて、とても嬉しかったです。ホストファミリーとは野球観戦や、モールでのショッピングをしました。ウェンディーズというハンバーガー店で頼んだスモールサイズの飲み物が、日本のトールサイズくらい大きくてびっくりしました。ホームステイ3日目の夜、バーロー家では、おじいちゃんやおばあちゃん、いとこなど、たくさんの家族を招いてグリルをしました。ハンバーガーをみんなで一緒に食べて、日本の学校の話をしたり、アメリカのスラングや流行を教えてもらったりしました。私の部活である剣道の試合動画を見せたら、「おもしろそう!」とわくわくしてくれて、とても嬉しかったです。ホストファミリーと過ごす中で感じたのは、日常的に自分の意志での選択を求められるということです。「この後〇〇するよ!」ではなく「〇〇と□□どっちをしたい?」と聞かれることがほとんどでした。最初は優柔不断で焦りましたが、だんだんと慣れて、自分の意見を躊躇せずに言うことができるようになりました。

☆アメリカの学校で☆

メアリズビル市では3つの学校に行きました。校内は廊下がとても広く、絵やオブジェがたくさん飾られており、日本との違いを感じました。また、クラブ活動にも一生懸命で、演劇部の実際の公演の写真やマーチングバンドの衣装が展示されていたり、ペップ・ラリー（全校集会）での壮行会があったりなど、力が入っていてとてもいいな

と感じました。授業では、積極性のある生徒が多くいて、先生の問いかけに対して、自分の意見を言うために手を挙げることをためらわずにいて素晴らしいと思いました。また、日本語クラスの生徒との交流では、現地の生徒と班を作り、班のみんなの共通点をたくさん探したり、英語のスラングを用いた劇を作って発表したりして、仲を深めることができました。現地の生徒は、学校の説明や自分の感情を日本語ですぐ言葉にしている、日本語のレベルが高くて驚きました。私も拙い英語ながら、身振り手振りを交えてコミュニケーションをとることができ、英語で会話が通じることの喜びをたくさん感じることができました。

☆まとめ☆

アメリカの人々は、周りと違うことを恐れていないように見えました。そして、個々の違いの中に輝きがあり、それをリスペクトし合って大事にしている雰囲気がありました。最後の日は、ホストファミリーとまだ一緒にいたい気持ちがありましたが、ありがとうをたくさん伝えてこれで良かったです。メアリズビルで出会ったすべての人が大好きです。この経験を生かして、これからも英語の勉強に励み、自分の進路に繋げ、さらには寄居町の未来にも貢献できるようになりたいです。

Thank you for everything!

## 思い出の旅

私は小さい頃から、アメリカでハンバーガーを食べに行くのが夢でした。なぜなら、テレビでアメリカのハンバーガーは美味しいし、サイズがめっちゃでかいと放送されていたからです。テレビで見るハンバーガーは、とても美味しそうで、キラキラしていたので、今でも覚えています。学校で海外交流派遣事業があることを知った時に、もしかしたら、アメリカに行けるかもしれないと思い、とても胸が高鳴りました。

また、ハンバーガー以外にもアメリカに行きたい理由がいくつかありました。去年、ホームステイを受け入れた時に、私が今よりも話すのに自信がなく、Tolu とあまりコミュニケーションが取れなくて悔しい思いをしたことが忘れられなかったり、大人になっていろんなところに行ってみたくので、その時に必要となる知識を get したかったりなど、沢山あります。また、私の大好きで尊敬している音楽の教師は、英語がペラペラだと聞いて、私もその先生みたいになりたいと思っていました。これらの理由で、私はこの事業に参加することを決めました。

アメリカへ行けることが分かった瞬間、嬉しすぎて叫んじゃったぐらいです。私はもちろん、アメリカ(外国)に行くのが初めてだったため、行く直前までドキドキとワクワクと不安で混ざったようなぐちゃぐちゃで、あんまり表現ができないような気持ちになっていました。一緒に行った先生も入れて、13人の仲間達とも上手く仲良くできるか...と、とても心配だったけど、旅をしていくうちに、みんなと仲良くなって帰ってくることができて、良かったです。

私はアメリカに行ってみて、日本と違うところをいくつか見つけました。日本とは違い、食べ物のサイズなど、いろんなサイズがでかかったことや、ハンバーガーがめっちゃ美味しかったこと、距離感がとても近くて、いろんな人と友達になれることなどです。

私が一番驚いたことは、自動販売機が日本と比

べるとあまりにも少なく、いろんな人がマイボトルを持っていることです。SDGs にちゃんと取り組んでいることを知り、とても感心しました。

私は、ホストファミリーと過ごす時間がとても楽しかったです。科学博物館に連れて行ってくれたり、スタバやマックなど、いろんな場所に連れて行ってくれたりしました。

ハンバーガーをいろんな場所で食べてみて、とても美味しかった場所は、ホストファミリーのおばあちゃん、ホストブラザーの彼女、ホストファミリーと私で食べに行ったスポーツバーでした。そこで英語で初めて注文しました。とても緊張したけど、自分で頼んだハンバーガーは、とても美味しかったです。

初めて会った時からだんだんと、ホストファミリーの絆が深まっていきました。最初は私から話しかけることができず、緊張している時にお父さんは笑顔で、いろんなことを聞いてきてくれたり、お母さんは、毎晩寝る前に手伝うことはありますか？と聞いてきてくれたり、妹はボードゲームをやりませんか？と聞いてくれたりしました、たくさんコミュニケーションが取れて良かったです。

私は今回の体験を通して、コミュニケーションの取り方や日本と違うところを知ることができました。また、英語の聞き取りも少しだけ上達でき、外国についての興味が深くなりました。今後、この経験を活かして大人になったら外国に行ってみたり、困っている外国人や観光に来ている外国人に声をかけて日本の良いところなどを教えたりしていきたいです。

《メアリズビルに到着》

飛行機とバスでへろへろになった私をホストファミリーは優しく迎えてくれました。ホストファミリーは、母のジェイミ、父のクリス、ホストブラザーのヴィニー、次男のニック、長男のジョシュの5人と、イヌのリビとロロです。ホテルから家までの車の中でたくさん話をしました。家族のこと、フライトのこと、ヴィニーが去年日本に来たことなどを話してくれました。家に着くと、ジェイミが Brownie(アメリカのチョコレートケーキ)を作ってくれました。甘い Brownie は疲れた体にとっても沁みました。

《1日目》

ホンダヘリテージセンターで歓迎セレモニーに参加しました。役員の方が話し終わる度に皆と握手をしていたので、こういうフレンドリーな文化っていいなと思いました。その後、ミュージアムの見学をしました。いろいろな型のエンジンや、日本では見られないホンダ車がたくさん展示してありました。中には、金色の車や欧米限定販売の車もあり、車好きの私はとても興奮してしまい、車と一緒にたくさん写真を撮ってもらいました。ヴィニーがアメリカにも Car meet という日本でいうクラシックカーパレードのような催しがあると教えてくれました。寄居町のクラシックカーパレードをいつも見っていますが、アメリカの Car meet も見てみたいです。昼食にハンバーガーを食べました。ビッグマックの倍くらい大きく、ハンバーガーだけでお腹いっぱいになってしまいました。午後はデパートに行き、買い物をしました。ヴィニーがおすすめのブランドやお菓子を教えてくれたので、私は服やアメリカのキャンディなどを買いました。また、『僕のヒーローアカデミア』や『Dr. STONE』などの日本の漫画が英語版で売られていたので、たくさん買いました。

《2日目》

ウォルマートで買い物をしました。ウォルマートは広く、とにかく何でも売っていて、お土産に

お菓子を買いました。

《3・4日目》

ECHS や BMS(高校や中学校)に行きました。ECHS では、日本語クラスの生徒と楽しくゲームをしました。BMS では、チアリーディングやアメフトを体験し、Pep rally(全校集会)に参加させてもらいました。アメリカでは、とにかくアメフト熱がすごいです。Pep rally では綱引きやチアリーディングをしていたので、声援が飛び交い、体育館内はとても白熱していました。チームに分かれて綱引きに参加しましたが、残念ながら負けてしまいました。4日目の夕飯は、ホストファミリー家の庭でソーセージやマシュマロを焼いたりホットドッグを作ったりしました。その後、ヴィニーとサイクリングに行きました。ヴィニーは池の周りに落ちていたゴミを拾い持ち帰っていて、環境意識の高さに感心しました。

《5日目》

MHS(高校)に行きました。個人的にはミュージカルの演奏が印象的でした。そして送別式典をしました。大勢の前で英語のスピーチをするのはとても緊張しましたが、ホストファミリーに感謝の気持ちを伝えることができましたと思います。

《まとめ》

この体験を通して、何事もやってみよう！というチャレンジ精神が身につき、もっと英語を話せるようになって国際交流に努めたいという思いが生まれました。最後になりますが、この事業に関わっていただいた方達に感謝し御礼申し上げます。いつかホストファミリーに会いに行くぞ！！



## 驚きの連続だったメアリズビル

### 《ホストファミリーとの生活》

僕が訪れたご家庭は、15歳と18歳の兄弟とお父さんお母さんの4人家族でした。お父さんとお兄さんはホンダで働いていて、お父さんは日本に来たことがあるとのことでした。富士山の写真を僕に見せてくれました。僕は長男なので、思いがけずに2人もお兄ちゃんできて、嬉しかったです。

メアリズビルの朝は日本の冬のようにとても寒い！アメリカの朝食はフルーツとベーコンとトーストで、日本とはあまり変わりませんでした。ですが、ホストマザーが用意してくれるアメリカの苺はとにかく大きい！しかも甘いのです。逆に小さい苺はとても酸っぱかったです。

日本を出発してから3日目。僕はホストファミリーの友達と一緒にバスケットボールをしました。僕がバスケットボール部に所属しているのを知って、兄たちが友人たちを呼んでくれたのです。バスケットコートまで、上のお兄ちゃんがゴルフカートで送ってくれました。アメリカでは16歳から運転をすることができ、ゴルフカートも道を走れます。とても羨ましく思いました。僕の身長は173cmと、男衾中では高い方なのですが、そこには僕より背の低い子はいませんでした。1人が僕に生のダンクシュートを見せてくれました。とてもクールで、その姿に憧れてしまいました。

### 《学校訪問》

最初に訪れたのは、アーリーカレッジハイスクールです。初めに自己紹介のゲームを沢山しました。そこで生徒の通常のスピードの英語の速さに、とても驚きました！昼食はピザやハンバーガーで、仲のいい友達同士と一緒に食べることができ、掃除の時間ありませんでした。そして何より校内が広く、単独行動は迷子になりかねませんでした。印象に残ったのは車の授業です。学校で車のタイヤ交換をやるとは思いもよりませんでした。家で父の手伝いをしたことはありましたが、電動のレンチは初めて使いました。学校で車をいじれるの

は凄いなと思いました。

次に訪れたのは、バンソールドミドルスクールです。この学校で印象に残ったことは何ととってもアメフトの授業です。まずはみんなでダミーに向かってタックルしましたが、びくとしなかったもので、2回目は闘牛のように腰を低く構え、相手を押し倒す気持ちで勢いよくいきました。するとダミーは少しだけ動いてくれました。僕は中学1年までサッカーをやっていたので、キックがとても上手だと褒められました。「良かったら入部してくれないか？」とアメリカンジョークも聞くことができ、とても嬉しく思いました。

また、全校集会では男衾中とは違い、とても騒がしく、最後にみんなで行った綱引きはとても盛り上がりました。

最後に訪れたのは、メアリズビルハイスクールです。この学校では、実際に溶接をやって見せてくれました。とても重いマスクを着けて、見えた微かな光はとても幻想的でした。他にも学校に3Dプリンターがあることに驚きました。いただいた牛の置物は、とても気に入りました。

理科の授業では、花の構造について調べました。使用した花が、先生が誕生日プレゼントにもらった花だったことにアメリカ人の大胆さを感じました。

### 《まとめ》

アメリカで驚いたことランキング

- 第1位 車の前側にナンバーが無い
- 第2位 食べ物1つの大きさ
- 第3位 ほとんどの建物が1階建て
- 第4位 信号機が縦
- 第5位 道がとても開けている

私がこの事業に参加する前は、アメリカで上手く英語を話せるか、ホストファミリーと上手くやっていけるか、などの不安がありました。しかしホストファミリーはとても優しく、行ってみたら楽し過ぎてあっという間の7日間でした。

### 《初めてのアメリカ》

ホストファミリーは父、母、ホストブラザーのエイブ、弟2人、妹です。エイブとは日本にいる時からほぼ毎日連絡を取り合っていました。初対面の時、メールでは驚くほど積極的だったエイブの緊張がすごく伝わってきたので、なるべく自分から話しかけました。

また、日本からのお土産を渡すととても喜んでいて、特に箸と扇子を気に入ってくれました。

### 《ホストファミリーと一緒にいた日》

朝起きてすぐにスターバックスに行きました。S サイズを頼んだはずが、L サイズくらいの物がきて驚きました。スーパーマーケットで買った大量のアメリカのお菓子は個包装で売っている物があまりなく、大きい箱で売っていることが多かったです。その後食べたハンバーガーはとにかくデカくて食べきるのが大変なくらいでした。

メアリズビルは8月でも長袖を着るほどの気温でした。家族全員で行った洞窟はさらに寒かったです。そこでとても良い記念写真が撮れました。夕飯はホストファミリーの祖父母が来て一緒にお寿司を食べました。祖父母の英語はとても聞きやすかったです。

### 《アメリカ初登校》

ECHS でのランチでは、ピザやハンバーガー、お菓子などがあり、自分でメニューを決めて食べることができるので良いと思いました。先生方は明るくて話しかけやすい雰囲気でした。

### 《たくさん動いた日》

フットボールの練習ではボールの扱いが難しかったです。チアダンスでは部員にキレッキレの動きを教えてくださいました。ユニフォームがとても派手でアメリカらしさが出ていました。

### 《ホームステイ最終日》

MHS の生徒と一緒に歌った英語の歌は、リズムが少し難しいけど、明るく教えてくれるので楽しかったです。夜はホストファミリーと焚き火をして、マシュマロをサンドしたクッキーを食べました。クッキーはサクッと、マシュマロはモチッとされていて美味しかったです。夜は寒いので、暖かくて心地よく感じました。その後みんなで私の好きな洋楽を聴き「It's a very good song! 」と言ってくれたので嬉しかったです。日本の曲も聴き、歌詞の意味も含めて素晴らしい、と言っていました。言葉は違くとも感覚は同じということに感動しました。

### 《アメリカを飛び立つ日》

出発前に手紙を読むとみんなが泣いてくれました。もう終わりなのか、と寂しい気持ちもありました。最初に会ったホテルへ行き、最後のお別れをするとエイブがまた泣いてしまいました。手紙を読んでいた時にこらえていた涙が少し出てきてしまいました。空港に向かう車内で、アメリカを離れると思うととても寂しかったです。

1 番の思い出はポークチョップを食べたことです。スパイスが豚肉に合っていてあまりの美味しさに衝撃を受けました。ホームステイ中はアイス屋さん3店、カフェ2店、朝からドーナツ屋さん、たくさんのスイーツの影響で常にシュガーハイでした。ずーっとお腹いっぱい！お土産も買い過ぎてスーツケースに入りきりませんでした。お腹も荷物も心もいっぱいになり、充実したアメリカ滞在でした。凄かった！この貴重な経験を色んな人と共有していこうと思います。

I can't wait to see my host family again!!

私は、アメリカの個人主義と日本の集団主義の違いを学びたいという思いでこの事業に参加させていただきました。

### 【ホストファミリーとの生活】

ホストファミリーは、私と同年の女の子ケイジーとお父さん、お母さんの3人家族で、とても温かく迎えてくれました。ホストファミリーとは、いろいろな場所に行ったり、アメリカ文化を教えてもらったり、歴史に関わる場所を訪れたり、多くの経験を共にしました。

初めて会った時は、緊張して上手く英語が聞き取れなかったり、話せなかったりしました。しかし、私に合わせて話してくれたので、だんだんと慣れて沢山の会話をすることができました。

4日目には、ホストファミリーと一緒に書道をしました。初めての書道だったので、ホストファミリーは興味深い様子でした。でも、慣れてくるにつれて楽しそうに、たくさんの字を書きました。特に、ケイジーが書いた「桜」は初めてとは思えないほど上手で、びっくりしました。難しかったけど、私の大好きな書道を伝えられて、とても嬉しかったです。他にも、趣味のピアノや折り紙と一緒にできたことは、良い思い出です。

食事は、いろいろな店に連れて行ってくれたり、家ではBBQをしたりしました。アメリカの食事は、とてもボリュームで食べきれませんでした。

でも、ホストファミリーから、「アメリカの食事は持ち帰ることを前提で出しているよ」と教わり、とても驚きました。

また、日本から持参したボディバッグが壊れた際は、バッグを買うため、いくつかの店に連れて行ってくれました。

一緒に多くの体験をし、私のサポートをしてくれたホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです。

### 【学校生活】

私達は、ECHS と BMS と MHS に行きました。ここでは、私の目標の、個人主義と集団主義の違いを

知ることができました。

特に、私が感じたのは、授業に参加させていただいた時に、〇〇やりたい人！と先生が声を掛けたら、大勢の生徒がすぐに手を挙げたことです。先生に指名されない生徒は、少し残念そうな様子でした。日本では、先生が声を掛けても、ほとんど手が挙がりません。何でも自分から積極的にやろうとする姿勢は、最も日本と違うところなのかなと感じました。

他にも、友達に何でも頼ったり、一緒に行動したりするのではなく、一人でどんどん作業を進め、自分で考えて行動します。そして、日本の集団主義の中でも、自分で考え行動することは、私にもできると思うので、これからは、普段の生活に取り入れていきます。

### 【まとめ】

私はこの8日間で、多くの素晴らしい経験をさせていただきました。ホストファミリーとは、日本の文化とアメリカの文化を紹介し合いました。市街視察では、戦争の記録を見ることができました。アメリカに行く前、原爆の絵が展示されている丸木美術館で戦争について学んだことと繋がり、平和への願いがさらに強まりました。また、学校では、個人主義と集団主義の違いについて学ぶことができました。

私が、様々な経験をできたのは、今回の事業に関わってくださった多くの方々の支えがあったからだと思います。これから、この経験が無駄にしないよう何事にも頑張ります。この様な貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

Thank you so much. I love Marysville!



私がこの事業に参加した動機は、アメリカと日本の文化の違いや、現地の方々の会話などを通して生きた英語を直接体験したいと思ったからです。最初は、自分の英語力で現地の方々との意思疎通ができるのか不安でした。しかし、いざ現地へ着くと不思議とその不安がなくなり、アメリカでの生活が私の一生の宝物となりました。

### 【ホストファミリーとの思い出】

私自身、絵を描くことが大好きです。それを伝え、リアとリリカと一緒に絵を描いてくれ、比べながら笑い合いました。ホストマザーのケイコさんの知り合いの家でパーティが開かれ、みんなでバレーをしたり、探し物ゲームをしたり楽しく過ごしました。なんといっても、とにかく庭が広がったことに驚きました。

毎朝ご飯を食べるときや、集合場所まで送迎をしてくださる時など、ケイコさんとたくさん話をしました。

リリカの保育園へ迎えにケイコさんと一緒に行ったとき、私の前で飛び交う現地の方々の会話で「私も一緒に会話に混ざりたい!!」と思いました。が、会話が早すぎて聞き取れず、くやしい思いをしました。そして、人生初のアメリカのBURGER KING やCOSTCO にも連れて行ってもらいました。その時、夜の8時くらいでしたが、夕方かと思うくらい外が明るかったことが本当に驚きでした。

最後の日に、私はジャガイモとたまねぎのお味噌汁を作りました。タイキは、お鍋や包丁を用意してくれました。みんな「perfect!!」と言ってくださり、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

### 【学校訪問】

日本とアメリカの学校の雰囲気は全く違っていました。その中でも最も驚いたことが、給食です。アメリカでは小さなバイキング形式でした。自分が食べたいものを選ぶことができるので感銘を受けました。

BMS(バンソールドミドルスクール)で大規模な集会がありました。そこではチアダンスを見たり、現地の学生達と一緒に綱引き大会をしたりと盛り上がりました。嵐のような歓声があちこちから飛

び交っていました。そこではたくさんの友達ができ、今でもやり取りをしています。

そして、感動したことがありました。MHS(メアリズビルハイスクール)に行ったとき、昨年私がホストファミリーとして迎え入れたエイデンと約一年の時を経て再会したことです。エイデンは日本語がとても上達していて、思わず感嘆しました。

### 【終わりに】

ホストファミリーの温かさや現地の人たちとの交流を通じて、「伝えようとする気持ち」と「理解しようとする姿勢」、「価値観の違いを受け入れ、その違いを楽しむ」ことが国際交流の第一歩なのだと実感しました。そして何より、この広い世界で出会うべくして出会った方々全てが必然なのだと、改めて強く感じました。

最後に、私にこのような貴重な経験をさせていただき本当に嬉しく思っています。この事業に関わってくださった方すべての皆様に感謝の気持ちを伝えます。

I am grateful for everything!! Thank you so much for everyone!!

The sky reminds me that we're all connected!!

I'll treasure those memories forever!!

僕はアメリカでのホームステイを通して、日本では味わえない新しい体験を数多くしました。最初は緊張していましたが、ホストファミリーや現地の友達のおかげで、とても充実した毎日を過ごすことができました。

### 《1日目》

長いフライトを終えて到着すると、夜遅くにもかかわらずホストファミリーが温かく迎えてくれました。家を案内してもらい、少しだけホストブラザーのディロンや妹とビデオゲームをして親しくなれました。

### 《2日目》

2日目は歓迎式典に参加し、ホストマザーがホンダで働いていることを知りました。昼は親戚や友人とBBQをして、手作りのハンバーガーやホットドッグを食べました。日本からのお土産のお菓子はとても人気で、ディロンの友達とも仲良くなりました。夜8時頃でも明るく、日の長さに驚きました。

### 《3日目》

3日目はディロンの運転で学校へ行き、枝豆農園やウォルマートを訪れました。広い店内に驚き、町の裁判所や図書館、市役所なども見学しました。どこでも人々がフレンドリーで、家に戻ってからは兄弟や現地の人と一緒にピクニックボールをしました。妹はマーチングバンドのトロンボーンを演奏してくれ、アメリカの家庭らしい温かさを感じました。

### 《4日目》

4日目は高校 ECHS を見学しました。専門的な授業や自分で選ぶ昼食、日本語を学んでいる生徒との交流は日本の学校と大きく違い、新鮮でした。特に昼食は自分で好きな物を選んで食べていることに驚きました。飲み物もジュースがあったりお菓子があったり、日本の給食とは全く違いました。車のタイヤ交換の授業やエンジニアのクラス、健康に関するクラスなど、専門的な授業が多かったです。休み時間には日本語と英語の両方で「ハングマン」という言葉当てゲームをして楽しみました。クロスカントリークラブの練習にも参加し、夕食

はメキシコ料理を食べ、その後ボーリングをしました。量が多く食べきれなかった料理を持ち帰る文化も印象的でした。

### 《5日目》

5日目は中学校 BMS を訪問しました。アクセサリをつけたりお菓子を食べながら授業を受けたりする生徒に驚きましたが、みんなとてもフレンドリーで、運動の授業では丁寧に教えてくれ、成功するとハイタッチで喜んでくれました。全校集会では綱引きに参加し、大人数で盛り上がる体験は日本ではできないものでした。夕食にはステーキを食べ、アメリカらしさを感じました。

### 《6日目》

6日目は MHS に行き、溶接や植物の授業を受け、マーチングバンドも見学しました。夜はホストファミリーとのお別れ会で感謝を伝え、最後にゲームセンターでゴーカートやミニゴルフを楽しみました。

### 《最終日》

最終日は家族で写真を撮り、早朝にホテルへ向かいました。ホストファミリーは別れを惜しみ、「次に来たときは一緒にフットボールを観よう」と言ってくれました。

### 《まとめ》

今回のホームステイでは、言葉や文化の違いを越えて関係を築けることを実感しました。日本のことを紹介し、逆にアメリカについて学んだことで世界が広がりました。日本に戻りたくないと思うほど楽しく、貴重な経験となりました。この経験を今後の生活や人生に生かし、一生忘れない宝物にしたいです。

# 引率者報告

この交流事業は、「互いの文化や教育への理解を深め、国際化社会に対応する人材を育成すること」を目的に、平成27年度から行われています。これまでに、寄居町から3度、メアリズビル市から4度、お互いの生徒を派遣・受け入れをして交流してきました。そして今年度は、寄居町からメアリズビル市へ派遣することから、寄居町の中学生に募集を行ったところ、45名から応募がありました。

## 1 選考試験

派遣する生徒を決定するために日本語作文・英語面接・日本語面接からなる選考試験を実施しました。日本語作文・日本語面接では「メアリズビル市に行ってこんな経験をしたい」「この事業での経験をどう活かしていくか」など、どの生徒も自身の考えを持ち、答える姿に感心しました。英語の面接では、外国人面接官からの英語の質問に、流暢な英語で回答できた生徒がいる一方で、質問が聞き取れず、何度も聞き直し、懸命に何とか答えようと奮闘する生徒もあり、この事業に参加したいという熱意が大いに感じられました。

そして、大勢の応募者の中から選考された今回の10名は、試験に対して一生懸命に取り組み、自身の意見を日本語・英語関わらず、しっかりと表現することができる生徒であると感じました。

## 2 事前研修会

選考された10名は、アメリカの文化や語学などを学ぶ事前研修会を4日間受講しました。研修会では、はじめにアメリカと日本の文化の違いや考え方を学びました。その後、「自分の知っている言葉で言い換える」ということを念頭に、自己紹介や寄居町の紹介、入国審査の手続き、レストランでの注文・支払い方法、ホームステイ先で必要な会話などを実践形式で行いました。研修を重ねるごとに、英語で会話することへの不安や恐れなどが取り除かれていくと同時に、参加者となった10名の絆が深まっていくのを感じました。

## 3 結団式

出発に先駆け結団式を行いました。式では、町長、町議会議員、教育長、副町長、さらにはこの事業費の基となる寄附をいただいているオリックス資源循環株式会社の有元社長にもご臨席を賜りました。そして来賓の方々からは、大変温かい激励の言葉をいただきました。有元社長からは、「海外相互交流派遣事業でメアリズビル市へ行けるこのチャンスを活かしてください。また、メアリズビル市へ行ったら、環境問題の取り組みについても関心を持ち、帰国後に教えてください」とお話しいただきました。生徒達も一人一人が派遣に向けての決意を表明し、出発に向けた良い式となりました。

## 4 出発から到着

東京国際空港（羽田空港）を出発し、約12時間後にカナダのトロント・ピアソン国際空港に到着しました。続いて乗り継ぎのため、アメリカ合衆国への入国審査に臨みました。事前研修で入国審査の手続きについて実践形式で練習していた生徒達は、緊張感を持ちつつも英語での対応力を求められる最初の関門に臆することなく対応していました。そして乗り継ぎまでの待ち時間、空港内で買物に挑戦していました。お店の方に英語で積極的に話しかけ、ドル紙幣を使用する生徒の姿を見て頼もしさを感じました。ジョン・グレン・コロンバス国際空港には、同日午後9時頃に予定通り到着しました。メアリズビル市の関係者の方々が温かく迎えてくれました。生徒達は、約16時間という長旅の疲れを見せず、憧れの地に降り立ち、ワクワクしている様子が伝わってきました。そこから専用バスに乗り、メアリズビル市内へ到着したのは午後10時頃になっていましたが、ホストファミリーの皆さんがご家族そろって待っていてくださり温かく迎えてくださいました。生徒達はホストファミリーに会えてとても安心した様子で満面の笑顔で挨拶を交わし、感動的な場面と



なりました。そしてここからホームステイが始まりました。

## 5 メアリズビル市での日々

1日目。ホンダヘリテージセンターで歓迎セレモニーが行われ、ボーガー市長をはじめ、メアリズビル市の方から歓迎のあいさつをいただきました。その後、生徒達はホストファミリーと一緒にミュージアムを見学しました。生徒達はホンダの歴史を知ることができ、寄居町とメアリズビル市は強く結びついているとよく理解できた様子でした。

2日目。アーリーカレッジハイスクールに集合した後、ミッチェル・ベリー農場で枝豆栽培の見学をしました。日本のTVでも紹介されたというポールさん・シェリーさん夫婦が経営しており、栽培方法について、にこやかに説明してくれました。次に、プロトワークという日系企業の工場を見学しました。ここは最先端の製品を少人数で生産している会社で、生徒はCEOの高田恒浩さんの説明から仕事に対する情熱を強く感じたようです。午後は、地元の警察・消防署、図書館、裁判所を見学しました。特に裁判所では、普段立ち入ることのできない法廷の椅子に座り、生徒は大喜びでした。

3日目。この日は前日集合したアーリーカレッジハイスクールの授業を見学しました。エンジニアリングの特別授業では、学校のロゴをプリントしたTシャツをお土産としていただき、生徒達はとても喜んでいる様子でした。午後は、オートテックの特別授業で、車のタイヤの付け替えを体験させてもらいました。

4日目。この日はバンソールドミドルハイスクールを見学しました。午前中はチアリーディングとアメフトの体験をさせてもらい、生徒達は必死ながらも、気持ちよく汗を流しました。午後は全校集会の形で行われた部活動壮行会を見学しました。最後は綱引きに飛び入り参加をさせてもらい、生徒達は大いに楽しんでいる様子でした。

最終日。この日はメアリズビルハイスクールを見学しました。午前中はお菓子作りを体験し、溶接の授業を見学しました。午後はミュージカルの授業やマーチングバンドの授業を見学しました。



日本では行わないような授業を同年代の生徒が学んでいる様子を見て、生徒達は感銘を受けている様子でした。

その後、送別式典に望みました。生徒一人一人がメアリズビル市での思い出とホストファミリーへの感謝を英語で発表しました。メアリズビル市の方々からの温かいまなざしと、生徒達の英語のスピーチを聞き、引率者としてこの事業が生徒にとって有意義なものであったと感じるとともに、生徒達の成長に感動しました。



## 6 まとめ

「中学生」という年代で、海外で過ごしたということは、生徒達にとって今後の人生で大きな財産になることでしょう。アメリカの文化に触れ、友人を作り、ホームステイをしたことが生徒達の将来の夢の実現に活かされることを願っています。そして、寄居町の将来を担ってくれるような人材になることを期待しております。

最後になりましたが、この事業に携わっていただきましたすべての方々に厚く感謝を申し上げまして、引率者としての研修報告とさせていただきます。